

国際バカロレア(IB)とは? Part2

What is International Baccalaureate?



朝日塾中等教育学校は、国際バカロレアMYP(中等教育プログラム)・DP(ディプロマ・プログラム)候補校^(※)です。

本校は、IBワールドスクール(IB認定校)としての認定に向けた申請段階にあります。

IBワールドスクールは、「質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組む」という理念を共有する学校です。

朝日塾中等教育学校は、このような教育に取り組むことが、次世代の生徒にとって大切なことであると考えています。

Asahijuku Secondary School is a candidate school* for the MYP (Middle Years Programme) and DP (Diploma Programme).

This school is pursuing authorization as an IB World School. IB World Schools share a common philosophy—a commitment to high-quality, challenging, international education—that we believe is important for our students.

At Asahijuku Secondary School, we consider it necessary to implement this type of education for the students of the next generation.

※国際バカロレア (IB) の「初等教育プログラム (PYP)」、「中等教育プログラム (MYP)」、「ディプロマ・プログラム (DP)」を実施することができるには、国際バカロレア機構 (IBO) に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保証するものではありません。国際バカロレア機構及びIBのプログラムの詳細については、ウェブサイト (<http://www.ibo.org>) をご覧ください。

※Only authorized schools of the International Baccalaureate Organization (IBO) are allowed to implement the IB's "Primary Years Programme (PYP)," "Middle Years Programme (MYP)," and "Diploma Programme (DP)." Being a candidate school is not a guarantee that the school will become an authorized IB World School. If you wish to learn more about the IBO and IB programmes, please access the website (<http://www.ibo.org>).

👑 MYP4年(中等部3年) 社会科受講生有志

第5回「高校生による岡山の歴史文化研究フォーラム」岡山県北西ロータリークラブ主催(岡山県教育委員会後援)

岡山北西ロータリークラブ賞受賞

国友道一旧閑谷学校顕彰保存会理事長の講評

「どう多様に、インクルーシブしていくか、すばらしい観点」

清水玲子山陽新聞社編集局文化部部長

「多様性という視点で切り込んで地域調査をして、水害対策の不十分さや地域の多様性維持の仕組みに気付き、主体的に参加して発信していく発展性のある実践的な発表でした。朝日塾の留学生、学校自体が多様性の希望の星」



◆「御津地域の持続可能性維持をめざした取り組み」発表要旨

およそ10年に1度の頻度で洪水被害にあう御津地域。「避難場所はどんな場所にあるのだろう」。「町並みは以前とどう変わったのだろう」。そんな疑問を抱いた私達は、地図を片手に校外学習に出かけました。校外学習の結果、高齢化が進み、町並みが変わる中、多様性を維持する仕組みが御津地域にあることに気付きました。約350年以上の歴史がある御津の獅子舞、そして御津地域の獅子が一堂に会する獅子舞フェスタもその一つです。

私たちが通う朝日塾中等教育学校が位置する御津地域の持続可能性を維持する取り組みを調べ、10代の私たちにも地域の一員として何かできることはできないかを考え、発表しました。



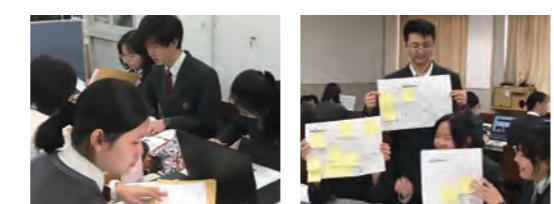
◆ 生徒を探究活動へと導いたユニットプランナー

IBでは単元ごとにユニットプランナー（単元指導案）を作ることが求められます。下の表は、実際に授業担当教員が作成したユニットプランナー（5枚）のうちの最初のページです。

重要概念	体系	関連概念	グローバル化・相互依存・多様性・持続可能性
グローバルな文脈	グローバル化と持続可能性		
概念的理解	新しいシステムの構築は、グローバル化にて対応した持続可能な社会づくりに貢献する		
探究テーマ	相互依存しながら協力することで、持続可能性のあるシステムを構築できる		
探究の問い			
【事実に基づく問い】	意見の衝突が生じた場合、何を意識して解決すべきか。どのような人権問題が思い浮かぶか。単なる利益と人権はどのように違うか。人権にはどのようなものがあるか。		
【概念的な問い】	日本・中国・タイには、人権保障のためのどのようなシステムがあるか。それらは多様性に配慮しているか。自然界には、持続可能性を担保するために、どのような多様性を維持する仕組みがあるか。グローバル化に対応した持続可能な社会づくりをするには、どのようなシステムが必要か。		
【議論の余地がある問い】	差異を埋める取り組みはどこまで必要か。御津地域における持続可能性のあるシステム構築のために、私たちにできることはあるか。		

授業担当教員のコメント

人権規定の知的理解にとどまらず、「自然界や人間社会には、どのような多様性を維持する仕組みがあるの?」「差異を埋める取り組みはどこまで必要?」といった探究の問い合わせを中心に据えた授業への転換をはかることで、生徒の探究心に火がつきました。DPの授業も生徒と一緒につくっていきたいと思います。



◆ 発表時に生徒が使用したPower Point資料の一部

御津金川地域の持続可能性維持をめざした取り組み ～今、私たちにできることはないか～



朝日塾中等教育学校

1

多様性を維持する意義について

生物について	人間社会について
環境破壊、生物の絶滅、種の個性の消失を防止できる。	一人ひとりの個性が未来につながる価値創造の源となる。

(第1回発表より)



3

御津の高齢化率を計算して比較してみた！

	総人口	高齢者人口 (65歳以上の人口)	高齢化率 =高齢者人口 ÷ 総人口 × 100
昭和45年度 (1970年度)	11,342人	1,628人	14.4%
平成29年度 (2017年度)	9,468人	3,447人	36.4% 超高齢社会...

参考文献 (1)「御津町振興計画」、御津町、1976.12
(2)「平成29年度高齢者実態調査(基礎資料)」、岡山市保健福祉局地域包括ケア推進課、2017.5



5

御津金川の問題点①

- ・避難場所が洪水の時に浸水！？ なんで？？
- ・金川地区の高齢者は結局、500メートル先の山腹にある御津中学校まで橋を渡って行かなければだめなのか...



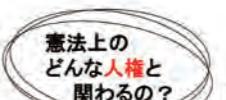
6

御津金川の問題点②

- ・御津の防災指示の拠点である御津支所も意外と標高が低く、水位によっては孤立しやすい場所にある。



7



日本国憲法第25条(生存権)→○
①すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

日本国憲法第14条(平等権)→△
①すべての国民は、法の下に平等であつて人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的、又は社会的関係において差別されない。

8

対策: 実は伝統的な祭りにも意義があった！



9

朝日塾生と獅子舞フェスタとの関わり



10

本校で開講する科目

	グループ	科 目
①	言語と文学(母国語)	日本語 A : 言語と文学(HL・SL)
②	言語習得(外国語)	英語 B (HL・SL) ※All English
③	個人と社会	歴史(HL)、地理(SL)
④	理科	生物(HL・SL)、化学(HL)
⑤	数学	数学:応用と解釈(HL・SL) ※All English
⑥	芸術	本校では開講しません。

左記 6 つのグループから、大学で専攻したいと考える科目や得意な科目を上級レベル (HL : Higher Level) として 3 科目選び、それ以外の 3 科目を標準レベル (SL : Standard Level) として選択してください。

なお、グループ 6 (芸術) の代わりに、グループ 3 (個人と社会) またはグループ 4 (理科) のいずれかを 2 科目選択してください。「日本語 DP」では、上記 6 科目のうち、2 科目について、英語で授業を受講することが求められます。(高等部 3 年次 11 月の最終試験も英語で受験することになります。)

本校では、グループ 2 (言語習得) とグループ 5 (数学) を英語で開講します。

※「日本語 DP」の詳細は、Part1 をご確認ください。

「IBディプロマ」を取得する条件

選択した 6 つの科目的評価については、7 段階評価で 4 点以上が合格となります。また、「コア科目」のうち TOK と EE に関しては、合計で最大 3 点が与えられます。45 点満点中 24 点以上で、IB ディプロマ（認定証書）を取得することができます。（6 つの科目の合計点が 24 点を超えていたとしても、「コア科目の 3 要件」を満たしていない場合には、取得できません。）

各科目的成績評価は内部評価と外部評価の合算です。内部評価とは担当教員による評価のことであり、評価全体の2～3割を占めます。（内部評価もIBに提出することが義務付けられており、評価規準に沿って適正に評価を出しているかチェックを受けます。）評価全体の7～8割を占める外部評価とは、5月と11月に実施される最終試験のことです。この試験の採点はIBの試験官が行います。本校の場合、高等部3年次の11月に受験し、翌年1月に最終スコアが通知されます。IBディプロマの取得率は、例年8割弱で推移しています。万が一、最終試験に不合格となった場合、翌年、再度チャレンジすることが可能です。



本校でのDP選考基準

A. 受け入れ基準

本校は、中高一貫校ですので、中等部3年生(MYP4)から高等部1年生(MYP5)に進学する時に、改めて入学試験を受ける必要はありません。高等部1年生(MYP5)の段階で、DP受講希望の生徒は、以下の基準を満たした上で、所定の手続きを取ることが必要となります。

- ・ DP で 2 年間の学習を行う強い意志を有していること。
 - ・ 高等部 1 年 (MYP5) における、MYP 全 8 教科の MYP 評価の平均値が 4.0 以上であること。
 - ・ 高等部 1 年 (MYP5) 12 月末までに、英語の外部検定試験の評価が CEFR 「B1」 以上のレベルであること。
 - ・ 留学生の場合には、高等部 1 年 (MYP5) 12 月末までに、日本語能力試験 (JLPT) 「2 級 (N2)」 以上のレベルであること。

B. 選考

左記基準を満たしており、DP 受講を希望する場合、生徒は、担任にその旨を伝えます。担任と学年主任は、1 学期末の保護者懇談時に、生徒・保護者の意思確認を行い、「DP 受講願」「保護者同意書」を教務部に提出します。所定の期日までに「DP 受講願」「保護者同意書」を提出した生徒・保護者に対して、面接試験を実施します。面接試験は、MYP コーディネーター・DP コーディネーター・管理職が担当し、生徒・保護者の IB 教育の理解度、DP 学習に対する最終的な意思確認を行います。

なお、高等部 1 年生に編入し、DP 受講を希望する生徒に対しては、書類審査・作文（必要に応じて学科試験）・面接を実施します。また、編入学時の言語レベルに関しては、左記「受け入れ基準」の言語レベルを満たしていることが条件となります。

(試験内容等の詳細は「編転入学試験募集要項」をご確認ください。)

国際的に評価される大学入学資格「IBディプロマ」

■ 海外の大学での IB 入試

現在、世界の1800以上の大学でIBディプロマ資格を活用した入学試験制度が採用されています。IBディプロマ資格は入学を希望する際の資格の1つです。一方で、大学が定めている試験や、その大学が所在する国で定められた試験のスコア等が別途必要となることが多いです。

専門外では、入学試験の判断材料として活用することに加えて、DPのHL科目で一定の得点を取得した生徒に対して、大学における該当科目の履修を免除したり、最終試験の総合点が極めて優秀な生徒に対しては、いわゆる「飛び級」という形で大学2年次に所属することを認めたりといった制度を有する大学もあります。

■日本の大学でのIB入試

日本では、IB ディプロマ資格を取得した18歳の生徒は高校卒業と同等以上の学力を有していると認められ、日本の大学入試の受験資格を得ることができます。近年、国立、私立を問わず、IB ディプロマ資格を利用した大学入試を実施する大学が増えています。出願要件などは大学ごとに異なりますが、多くの大学で総合型選抜(旧 AO 入試)などの出願資格の一つとして活用されており、所定の要件を満たした場合、受験することが可能です。日本の大学では、DP の成績等を活用した入学試験を積極的に導入する動きが広がっています。



《IB 入試を実施している日本の大学の一例》

国立大学	北海道大学	東北大学	筑波大学	お茶の水女子大学	東京大学
東京医科歯科大学	東京外国語大学	東京藝術大学	金沢大学	名古屋大学	京都大学
大阪大学	岡山大学	広島大学	長崎大学	鹿児島大学	
公立大学	国際教養大学	首都大学東京	横浜市立大学	都留文科大学	大阪市立大学
私立大学	青山学院大学	学習院大学	慶應義塾大学	国際基督教大学	順天堂大学
玉川大学	中央大学	東京国際大学	東洋大学	法政大学	武藏野大学
明治学院大学	立教大学	日本体育大学	愛知医科大学	中京大学	京都外国语大学
立命館大学	近畿大学	関西学院大学	神戸女学院大学	西南学院大学	立命館アジア太平洋大学

注意点

DP を利用して大学へ出願する場合、どの科目をどのレベルで選択したかが重要となります。例えば、受験資格要件として、「数学を HL で選択し 7 段階中 5 以上の成績を修めている」や「理科を 2 科目履修している」といった形で、DP 科目を指定していることがあります。概して、理系分野の学部・学科において、細かい出願条件が課せられている場合が多いので、十分注意してください。

国際バカロレアの詳細については「国際バカロレア公式ウェブサイト <http://www.ibo.org>」
または、「文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム (<https://ibconsortium.mext.go.jp/>)」
をご覧ください。



公式ウェブサイト [IB 教育推進
コンソーシアム](#)

*丸数字はグループを意味しています。



FAQ

<学校生活について>

1 HRクラスは一般プログラム生と別になりますか。

—— 完全に分かれることはありません。DP選択者は一般プログラム生とともにAクラスに所属する予定です。授業に関しては、ほとんどの授業が別々となりますが、保健体育等、合同で実施する授業もあります。

2 生活時程は一般プログラム生と異なりますか。

—— 一日の生活時程はほぼ変わりません。ただし、授業時間数を確保するために、7限・8限に授業を実施したり、夏期休業や冬期休業期間が一般プログラム生と異なったりする可能性があります。

3 定期考査は一般プログラム生と異なりますか。

—— 定期考査のスケジュールは一般プログラム生とは異なります。高等部2年次の1学期末・3学期末、高等部3年次の1学期末の計3回実施する予定です。試験内容に関しても一般プログラム生の定期考査と異なり、最終試験の模擬試験を中心実施する予定です。

4 学校行事や生徒会活動は一般プログラム生と一緒に活動できますか。

—— 定期テストや一部行事の時間が異なりますが、紅華祭（体育の部・文化の部）・クラスマッチ等の学校行事や、生徒総会・委員会などの生徒会活動については一般プログラム生と一緒に活動できます。

5 部活動は一般プログラム生と異なりますか。

—— CASの活動のひとつとして位置付けられる場合がありますが、活動自体は一般プログラム生と一緒に活動し、内容もほぼ変わりません。

<履修について>

6 高等学校卒業資格は取得できますか。

—— はい。本校のDPカリキュラムは文部科学省の定める学習指導要領にも対応しているため、日本の高等学校卒業資格も取得できます。

7 途中でDPから一般プログラムへ変更はできますか。

—— 同意書を受理してからのプログラム変更は認めていません。

8 DPを選んだ場合、留学できますか。

—— できません。DPの2年間において、途中でプログラムを離れることは認めていません。

9 朝日塾への編入を考えています。前の学校もDPを実施しており、朝日塾と同じ科目・同じレベルの授業を選択していました。

前の学校の授業時間数をカウントに入れることはできますか。

—— できません。

10 英語は得意ですが、日本語が苦手です。

日本語で行う科目的課題を英語で行うことはできますか。

—— できません。指定された言語で取り組むことが求められます。本校のDPは、日本語と英語で行うプログラムであり、日本語と英語の両方について高度な言語運用能力が必要です。

11 英語に自信がありません。英語B(グループ2)と数学(グループ5)を日本語で受講することはできますか。

—— できません。日本語DPでは最低2科目を英語で受講することが求められます。本校では、英語Bと数学が英語で受講する科目となっています。

<編転入学試験について>

※出願の詳細については、募集要項を併せてご確認ください。

12 いつまでに編転入学すれば、DPを選択できるでしょうか。

—— 本校ではYear1が高等部1年次の1月にスタートします。従って、高等部1年次12月の編転入試験を受検し、1月から入学する必要があります。(高等部2年次から編転入学した場合、DPを選択することはできません。)

13 DPと一般プログラムで迷っているのですが、合格後にプログラムを選択し直すことはできますか。

—— できません。出願時にDPを選択し、所定の試験に合格した方がのみがDP生として認められます。合格後に一般プログラムへ変更することはできません。

14 DPと一般プログラムで、選抜の基準は変わりますか。

—— 出願時に選択するプログラムに関係なく、同じ試験内容で区別なく選抜を行います。ただし、DPを希望する場合、日本語と英語の運用能力に関して、所定のレベルに達していることが条件となります。また、海外からの留学生及び帰国生に関しては、試験科目等が異なります。

<その他>

15 費用について、一般プログラムとどのような違いがありますか。

—— 一般プログラム生の費用とは別に、「DP設備等維持費」として月額20,000円を2年間（高等部1年次1月から高等部3年次12月まで）お納めいただきます。この費用は、ライティング支援システム（Turnitin）使用料、理科等の実験器具維持費、IB関連の書籍購入費等に充当されます。また、下に例として挙げている実費に関しては、別途ご負担いただきます。

《ご負担いただく実費の例》

- ・教材費（テキスト、参考文献、関数電卓、文房具等）
- ・理科実験時の個人用備品（白衣・ゴム手袋・ゴーグル等）
- ・フィールドワーク等、校外学習時の現地までの交通費・施設利用費
- ・「Managebac」使用料
- ・IB最終試験受験料